



サステナビリティレポート 2011

Sustainability Report 2011

Sustainability 2011

NISSAN



また、物流手段の見直しを行い、海上輸送および鉄道輸送へのモーダルシフトを推進しています。日本での完成車輸送は、約70%を海上輸送で行っています。また、関東地区から九州工場への部品輸送はほぼ全量を鉄道や船舶で行っており、特に船舶へのモーダルシフトについては優良事業者として国土交通省からの認定を取得しています。

海外拠点においては、それぞれの地理的特性を生かした輸送手段を選択しています。完成車輸送にも、輸送先に応じて鉄道や船舶を使い、従来のトラック輸送からの切り替えを推進しています。メキシコでも国内への完成車輸送に鉄道を利用する比率を高めています。

省エネ型自動車運搬船を導入（欧州）

日産は2010年12月、欧州域内で新たに導入する完成車海上輸送用の省エネ型自動車運搬船「シティ オブ セントピーターズバーグ」を公開しました。

この省エネ型自動車運搬船は、船首部の形状を半球の流線形にすることで、風圧抵抗を従来比最大50%低減しています。北大西洋における平均海象条件において年間航海率75%をベースに計算すると、最大年間約800トンの燃料節減に相当し、CO₂排出量で年間約2,500トンの削減を達成できることとなります。日産専用船株式会社の子会社であるユーロ・マリン・キャリアーが欧州市場向けの日産車両を北欧やロシアへ海上輸送する際に使用する予定で、風が強いと言われている北海領域で最大限の効果を発揮することが期待されています。

■ 販売会社・オフィスでの取り組み

包括的なCO₂排出量マネジメント

日本国内では、事業所および国内の全販売会社で包括的なCO₂マネジメントを推進しています。2008年度からは「ニッサン・グリーンプログラム 2010」に基づき、販売店での事業活動におけるCO₂排出量の管理、削減活動を開始しました。現在多くの販売店で、高効率空調や断熱フィルム、天井ファン、LED照明の採用を開始するなど、省エネ活動を推進しています。海外では、北米日産会社や欧州各拠点においてCO₂マネジメントを開始しています。今後、さらに多くの国と地域でのCO₂マネジメントを強化していきます。